

思想

- 69 『脱成長のとき一人間らしい時間をとりもどすために』
セルジュ・ラトゥーシュ、ディディエ・アルバジェス 著；佐藤直樹、佐藤薫 訳
- 70 『ツァラトゥストラかく語りき』
フリードリヒ・W・ニーチェ著；佐々木中訳

- 71 『現代思想の教科書—世界を考える知の地平15章』
石田英敬著
- 72 『ニーチェと哲学』
ジル・ドゥルーズ著；足立和浩訳
- 73 『切りとれ、あの祈る手を—〈本〉と〈革命〉をめぐる五つの夜話』
佐々木中著
- 74 『他者の苦痛へのまなざし』
スーザン・ソンタグ著；北條文緒訳
- 75 『精神的考察』
藤田省三著
- 76 『人間の条件』
ハンナ・アレント著；志水速雄訳
- 77 『明かしえぬ共同体』
モーリス・ブランショ 著；西谷修訳
- 78 『ロルティ伍長の犯罪—〈父〉を論じる—ピエール・ルジャンドル第八講』
ピエール・ルジャンドル 著；西谷修訳
- 79 『フェミニズムの政治学』
岡野八代著
- 80 『カタストロフからの哲学—ジャン=ピエール・デュビュイをめぐって』
渡名喜庸哲，森元庸介編著

子ども

- 81 『ミリー—天使にであった女の子のお話—グリム童話』
フ・マンハイム英語訳；神宮輝夫日本語訳
- 82 『ぼくはくまのまままでいたかったのに』
イエルク・シュタイナー文；イエルク・ミュラー絵；おしまかおり訳
- 83 『紅玉』
後藤竜二文；高田三郎絵
- 84 『そして、トンキーもしんだ』
たなべまもる文；かじあゆた絵
- 85 『道はみんなのもの』
クルーサ文；モニカ・ドベルト絵；岡野富茂子，岡野恭介共訳
- 86 『びりっかすの神さま』
岡田淳作・絵
- 87 『チポリーノの冒険』
ジャンニ・ロダーリ作；杉浦明平訳
- 88 『僕は、そして僕たちはどう生きるか』
梨木香歩作
- 89 『本泥棒』
マークス・ズーサク著；入江真佐子訳
- 90 『ぼんぼん』
今江祥智著

文化

- 91 『知の広場—図書館と自由』
アントネッラ・アンニョリ；萱野有美訳
- 92 『オリジンから考える』
鶴見俊輔，小田実著
- 93 『文化=政治』
毛利義孝著
- 94 『文化と帝国主義<1>』
エドワード・W・サイード著；大橋洋一訳
- 95 『Go』
金城一紀著
- 96 『動物農場—おとぎばなし』
ジョージ・オーウェル作；川端康雄訳
- 97 『苦海浄土—わが水俣病』
石牟礼道子著
- 98 『アラブ、折りとしての文学』
岡真理著
- 99 『想像ラジオ』
いとうせいこう著
- 100 『ヒップホップの詩人たち』
都築響一著

- 101 『民主主義ってなんだ?』
高橋源一郎，SEALDs著
- 102 『民主主義ってこれだ!』
SEALDs編著

『今』を 生き抜くための 102冊

by SEALD^s

102冊の書評を Download → www.sealds.com/



政治	1 『丸山眞男セレクション』	丸山眞男著; 杉田敦編
	2 『政治の眼力—永田町「快人・怪物」列伝』	御厨貴著
	3 『右傾化する日本政治』	中野晃一著
	4 『私たちの声を議会へ—代表制民主主義の再生』	三浦まり著
	5 『職業としての政治』	マックス・ヴェーバー著; 脇圭平訳
	6 『権利のための闘争』	イエーリング著; 村上淳一訳
	7 『政治的なものの概念』	C. シュミット著; 田中浩, 原田武雄訳
	8 『自由』	齋藤純一著
	9 『<私>時代のデモクラシー』	宇野重規著
	10 『ポスト・デモクラシー—格差拡大の政策を生む政治構造』	コリン・クラウチ著; 近藤隆文訳

憲法	11 『憲法主義一条文には書かれていない本質』	内山奈月, 南野森著
	12 『憲法 第六版』	芦部信喜著; 高橋和之補訂
	13 『赤ペンチェック 自民党憲法改正草案』	伊藤真著
	14 『安倍流改憲にNOを!』	樋口陽一, 山口二郎編
	15 『集団的自衛権はなぜ違憲なのか』	木村草太著
	16 『立憲主義について—成立過程と現代』	佐藤幸治著
	17 『憲法9条の思想水脈』	山室信一著
	18 『日本国憲法の誕生』	古関彰一著
	19 『憲法と沖縄を問う』	井端正幸, 渡名喜庸安, 仲山忠克編
	20 『憲法とは何か』	長谷部恭男著

生活	21 『生活保障—排除しない社会へ』	宮本太郎著
	22 『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』	湯浅誠著
	23 『現代日本の生活保障システム—座標とゆくえ』	大沢真理著
	24 『健康で文化的な最低限度の生活』	柏木ハルコ著
	25 『ブラック企業2—「虐待型管理」の真相』	今野晴貴著
	26 『保育園義務教育化』	古市憲寿著
	27 『老い衰えゆくことの発見』	天田城介著
	28 『人間の安全保障』	アマルティア・セン著; 東郷えりか訳
	29 『定常型社会—新しい「豊かさ」の構想』	広井良典著
	30 『被抑圧者の教育学』	パウロ・フレイレ著; 三砂ちづる訳

戦争	31 『本当の戦争の話をしよう—世界の「対立」を仕切る』	伊勢崎賢治著
	32 『平和と安全保障』	鈴木基史著
	33 『国際政治史』	岡義武著
	34 『日米安保と自衛隊』	遠藤誠治責任編集

記憶	35 『核兵器を禁止する』	川崎哲著
	36 『沖縄が問う日本の安全保障』	島袋純, 阿部浩己責任編集
	37 『戦争プロパガンダ10の法則』	アンヌ・モレリ著; 永田千奈訳
	38 『<テロル>との戦争—9.11以後の世界』	西谷修著
	39 『安全保障という逆説』	土佐弘之著
	40 『権力政治を超える道』	坂本義和著

記憶	41 『荒れ野の40年—ヴァイツェッカー大統領ドイツ終戦40周年記念演説』	リヒャルト・フォン・ヴァイツェッカー述; 永井清彦訳
	42 『[新訳・評注] 歴史の概念について』	ヴァルター・ベンヤミン著; 鹿島徹訳・評注
	43 『批判的想像力のために—グローバル化時代の日本』	テッサ・モーリス=スズキ著
	44 『日本の政治と言葉上—「自由」と「福祉」』	石田雄著
	45 『沖縄戦が問うもの』	林博史著
	46 『ヒロシマの嘘』	福島菊次郎著
	47 『日本とアジア』	竹内好著
	48 『戦争は女の顔をしていない』	スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ著; 三浦みどり訳
	49 『ビヒモス—ナチズムの構造と実際』	フランツ・ノイマン著; 岡本友孝, 小野英祐, 加藤栄一訳
	50 『ホロコस्तからガザへ—パレスチナの政治経済学』	サラ・ロイ著; 岡真理, 小田切拓, 早尾貴紀編訳

社会	51 『ぼくらの民主主義なんだぜ』	高橋源一郎著
	52 『生のあやうさ—哀悼と暴力の政治学』	ジュディス・パトラー著; 本橋哲也訳
	53 『新版 ブランドなんか、いらない』	ナオミ・クライン著; 松島聖子訳
	54 『現代奴隷制に終止符を!—いま私たちにできること』	ケビン・ベイルズ著; 大和田英子訳
	55 『ネットと愛国—在特会の「闇」を追いかけて』	安田浩一著
	56 『福島原発事故をめぐって—いくつか学び考えたこと』	山本義隆著
	57 『秘密保護法何が問題か—検証と批判』	海渡雄一, 清水勉, 田島泰彦編; 西谷修[ほか]執筆
	58 『物騒なフィクション—起源の分有をめぐって』	フェティ・ベンスラマ著; 西谷修訳・解説
	59 『写真集ひきがね—抵抗する写真×抵抗する声』	ECD著; 島崎ろでい—写真
	60 『アウシュヴィッツは終わらない—あるイタリア人生存者の考察』	ブリーモ・レーヴィ著; 竹山博英訳

未来	61 『私には夢がある—M・L・キング演説・講演集』	マーティン・ルーサー・キング著; クレイボーン・カーソン, クリス・シェパード編; 梶原寿監訳
	62 『永遠平和のために—啓蒙とは何か: 他3編』	カント著; 中山元訳
	63 『世界史の中のパレスチナ問題』	白杵陽著
	64 『あの人と和解する』	井上考代著
	65 『「存在の現れ」の政治—水俣病という思想』	栗原彬著
	66 『独立国家のつくりかた』	坂口恭平著
	67 『一般意志2.0—ルソー、フロイト、グーグル』	東浩紀著
	68 『公衆とその諸問題—現代政治の基礎』	ジョン・デューイ著; 阿部齊訳